令和7年度　あおぞらないろ園　自己評価・学校関係者評価報告書

調査対象　：　保護者（施設アンケート結果１１０名）

：　保育・給食・保健部門、事務等全職員（自己評価結果３５名）

調査方法　：　上記保護者、職員の評価資料と経営、教育・保育内容の説明
及び施設見学による学校関係者評価委員７名の結果

学校関係者評価訪問日　：　令和7年１１月６日

学校関係者評価方法　：　3段階評価　【　Aよい　B概ね良いが一部検討を要する　C改善を要する　】

◎　今年度の重点的な取り組みについての評価

評価項目		評価内容	評価委員評価		評価委員のご意見 〇成果　▲課題	園としての課題と改善策
1	重点的な取り組み内容	子供達の姿を踏まえた「重点的な取り組み」が設定されていますか。	A	100%	〇重点項目に沿った取り組みが継続的に行われており、職員間でも共通理解のもと実践されていて良い。 〇「目指す子供の姿」の4本の柱を意識した日常の取り組みがなされている。 〇「目指す子供の姿」に向けて、子供主体で強制されることなく見守り育てる保育が設定されていると思いますし、なされていると思います。 〇教育活動の充実と教育の質の向上に繋がっていると思います。 〇小学校に向けて、各年齢ごとにしっかり教育、保育目標を立て、目指す子供の姿に向け、職員の方も一生懸命取り組まれていると思います。	●地域に根ざす認定こども園づくりに向けて、教育・保育の質の向上を目指すと共に、保護者の意見や職員の思いを受けとめながらこれからも継続的な取り組みを進めてまいります。
			B	0%		
			C	0%		
	主体的な保育実践	子供達の興味・関心を捉えた“主体的な保育の実践”が展開されていますか。	A	100%	〇それぞれの発達段階において、子供自体が決定する場、選択する場の仕掛けがなされていた。幼い時から自己有用感を持たせるための取り組みが評価できる。 〇どのクラスも子供達が興味を持つような環境作りがされており、子供が自由に様々な遊びを楽しめるように工夫されていると思います。 〇子供達の興味や関心を引き出して、主体的に取り組めるような環境を作ってくれていると感じます。 〇子供一人ひとりの姿を丁寧に捉え、関わりや環境構成の工夫が行われている事が評価できます。 〇日々の遊びや活動の中で子供達自身が選択し、試行錯誤しながら学べる環境が整えられている。	●子供達の興味・関心を引き出しながら実体験の経験を繰り返し知ることの喜びや、考えて取り組むなど深い学びへと繋がるよう環境を整えていきます。子供自身の意欲的・主体的な遊びに繋げていきます。
			B	0%		
			C	0%		
	実体験の充実	野外活動で自然に親しんだり、畑での栽培、収穫、クッキングで食への関心が深まっていますか。	A	100%	〇特色ある活動が随所に企画、運営されていた。また、それに工夫と改善が加えられているところがよい。 〇恵まれた自然環境の中で、子供達が野菜を育て、実際に触れたりそれを給食で食べたりしていて良い体験が出来ていると思います。 〇0歳児から野菜や果物に触れたり、自分たちで育てた野菜がクッキングでどう料理に変わるか学んだり、食べることへの意欲を高める取り組みがされていると思います。 〇未満児クラスでも、育てる野菜を実際にお店に行ってみてイメージを持ってから栽培に取り組むという流れがわかる写真があり一貫しているなと感心しました。 〇畑で季節の野菜を育てて子供達で収穫し、給食で食べて食育とて関心を深めていてとても良いと思う。（火を起こして飯ごうで炊くなど）	●野外の活動では自然環境に合わせた対策を考えながら、より自然に親しみが持てるよう取り組んでいきます。畑の作物に興味を持ち食することだけにとどまらず葉の形、枚数、花や実等の観察にも学びを深めていけるよう工夫していきます。
			B	0%		
			C	0%		
	子育て支援活動	コロナ感染症への対応が変化し、地域子育て支援の他、世代を問わず様々な方との関わりが行われましたか。	A	71.4%	〇家庭保育の方が園で遊び交流する姿があったり、祭りでは練り歩きや地域の方がたくさん参加したり、積極的に関わりを増やしていると思います。これからもどんどん関わりが増えるといいなと思います。 〇商業施設や福祉施設、学校等様々な人達との関わりは少なくないと思います。お誕生日会に地域のお子さんが参加できるのはいいなと思いました。 〇地域の行事や異世代との交流が再開され、多様な繋がりを意識した取り組みがみられた。 〇緩和される中で、地域子育て支援の取り組みが再開され世代を問わず多様な方々と交流が行われていました。 ▲地域の関わりは、相手があり難しい事もあると思いますが色々工夫しているようなので継続してほしいです。	●より地域の方々に親しみをもっていただけるよう発信対応を広げ、掲示板や、ホームページへの充実を図ってまいります。異年齢交流をさらに充実させ活動の幅を広げて継続的に活動を進めていきます。
			B	28.6%		
			C	0%		

◎より良い保育に向けた日々の教育・保育実践の振り返りについての評価

評価項目		評価内容	評価委員評価		評価委員のご意見 ○成果 ▲課題	園としての課題と改善策
2	実践の振り返り	虐待等と疑われる事案(いわゆる「不適切な保育」)について適切な取り組みが行われていますか。	A	100%	○職員間での話し合いが定期的に実施されているので、職員の意識が変わってきたと振り返っています。これからも継続していってほしいと思います。 ○チェックリストや職員で話し合いを行ったり、子供との関わりについて職員一人ひとりが意識できるよう努力してしていると思う。言いにくい事、聞きにくい事等も職員が話しやすい環境にする為の努力もされていると思うので、このまま職員一人ひとりが意識できる環境作りを大切にしてほしい。 ○昨年よりも職員の方々の自己評価が高いのは、改善策をきちんと講じた結果なのかなと思う。 ○子供達を尊重した適切な関わりが職員全体で意識されており、問題や気づきがあった際は速やかに共有、改善へと繋げる体制が整っていると思う。子供の安全を最優先した判断がされており、観察記録や保護者対応も丁寧に実施されています。	●子供の理解を深める為に活動や指導の内容を振り返り、翌日の生活や活動に繋げられるよう継続していきます。職員相互の関係性を大事にし、また「報告・連絡・相談」を職員全体で意識していく事に努めます。
			B	0%		
			C	0%		
3	教育・保育に対する指導について	日頃の活動は「指導計画」を基に実践しておりますが、子供達の成長発達に即した活動が見られていますか。	A	100%	○子供の五感を刺激し、よりよい成長を促す環境が整えられていた。 ○牛乳パックで作った車や樋など身近な物を工夫して活用していると感じました。 ○手作りのおもちゃや、子供達の作った物も上手く活用して、発達に合わせた環境作りがとても良いと思いました。子供の発想や創作意欲が高まり、子供一人ひとりが楽しめる工夫がされていると思います。 ○未満児クラスは、興味・関心を引き出すような制作品に創意工夫が感じられ、以上児クラスはそれぞれの好みを尊重したり伸ばしたりする環境が整っていると感じました。	●子供が主体的な遊びと深い学びができるように、教材や教具を適切に選び、表現の仕方に親しみながら、自分自身を表現できるよう創意工夫をしていきます。
			B	0%		
			C	0%		
		園内は、環境の構成を意識した活動が実践され、指導の方法や過程が工夫されていますか。				
		教材・教具を適切に活用し、創意工夫していますか。				

◎全方位的な評価

評価項目		評価内容	評価委員評価		評価委員のご意見 ○成果 ▲課題	園としての課題と改善策
4	行事について	園全体の行事は参加しやすいように日程などが配慮されていますか。	A	100%	○行事運営はもちろんのこと、日常の保育活動を丁寧に大切に行っているといった理念に賛同する。職員のウェルビューイングも考慮しながら、今後も園が担う業務の適正化を視野に入れて運営していってほしい。 ○行事は、施設アンケート結果等より、十分検討され実施されていると思います。 ○夏祭りの午前開催、年間行事表など、保護者の参加しやすい状況等を考えていると思いました。 ○全ての願いや意見を考慮するのは大変だと思いますが、保護者の願いや意見を十分取り入れながら行事が行われていると思います。行事のねらいについても保育参加や事前の説明会等で保護者にも伝えているので、理解しやすく普段の子供の姿や成長していく姿を見ることができ、とても良いと思います。 ○夏祭りの時間変更など、保護者の声に対応して頂いていると感じました。運動会で、未満児クラスが活動している間の待ち時間は子供たちにとっては少し長くないかな思います。雨天時のように、二部制でもいいかなと思いました。 ○保育参加や運動会等も土曜日に行っていて参加しやすいように配慮されている。 ○事前の案内も早めに知らされており、家庭の予定が立てやすい環境作りが実践されています。	●子供達の経験が深い学びとなり、保護者の方々と共に成長を喜び合えるよう行事や保育活動の企画や実践が、充実したものになるよう話し合いを重ねていきす。保護者の方からの意見を取り入れながら、安全・安心が感じられるように検討してまいります。
			B	0%		
			C	0%		
		行事のねらいを計画や実施に十分生かしていますか。				
		保護者の願いや意見を取り入れていますか。				

評価項目		評価内容	評価委員評価		評価委員のご意見 ○成果　▲課題	園としての課題と改善策
5	運営・保健・安全指導について	規則正しい生活習慣やマナー・ルールを身につけられるような指導が行われていますか。	A	100%	○安全指導について、様々な状況を想定した避難訓練、交通安全指導により子供の安全を第一に考えた計画がなされていた。今後も、安全計画はその都度見直しながら、安全に関する課題に関心を持ち、主体的に実現しようとする姿を求め取り組んでほしい。 ○子供の発達に合わせ生活習慣が身につく指導がされているので、親がそこまで教えてあげれていないことも、気づいたら出来ている事が多くありがたかったです。感染対策もしっかり行われていて、子供の安全を守る対策もその時の状況に合わせ対応されていると思います。熊対策も園長先生が体を張って対策していると感じ、ありがたいなと思いました。子供達の安全はもちろんですが、職員の安全も大事なのでそこもしっかり守りながらこれからも様々な状況にあわせて対策していって頂けたらと思います。 ○「保健・安全指導」で記載されている「毎月のチェックリスト」を差し支えないなければ参考資料として、評価委員会時に拝見できればと思いました。 ○決まったルーティンを過ごしてマナーやルールを身に付けられている。感染症が流行する季節は、手洗い・うがいを毎朝行ってからの受け入れをする等適切な対応をしている。避難訓練は、毎回違う内容で行っていてとても良いと思う。 ○訓練の振り返りも職員間で共有されていると思います。子供達も落ち着いて行動でき、安全教育が十分に身についている様子がみられます。	●毎月行われる避難訓練は、子供達にも理解できるような内容で緊急性を伝えながら取り組んでいます。園内の緊急装置についても説明する機会を都度持っています。又、内容を振り返り対応方法や課題と向き合って実施しています。 ●今年度は熱中症対策や熊対策を講じる一年となりました。内容や場所の縮小等を常に検討し、安全に活動できるよう進めてきました。今後も対策を練りながら活動していきます。 ●衛生面においては、看護師による手洗い指導を取り入れて実施しています。
			B	0%		
			C	0%		
		感染症やアレルギー等に対する理解を深め、処置や対応が適切に行われていますか。				
		ヒヤリハット事例や事故発生の分析を元に、危機管理能力を向上させていますか。				
		避難訓練・交通安全指導等は適切に実施し、改善を図っていますか。				
		乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っていますか。				
6	情報・施設・設備の状況について	乳幼児や保護者に関する個人情報を適切に取り扱っていますか。	A	85.7%	○お部屋はいつも子供達が使いやすいようセットされていると思います。掲示物が多く、大変だと思いますが、情報が伝わるよう改善に務めているなと思いました。 ○迎えの時、いつも丁寧に清掃してくださり、お部屋の中もスッキリと片付き清潔感を感じます。掲示板の情報は多いですが、直近のものはホワイトボードに手書きで書いてくれているのでわかりやすいです。 ○子供達が片付けやすいように物の場所を決めて、写真を貼って分かりやすくしていたり、クラスに合わせた配置をしていて良いと思う。 ○保護者が確認しやすいように整えられています。お知らせや園の様子、行事予定など整理して掲示されており、情報が適切に伝わります。 ▲掲示板については、重要性のあるものや緊急性のあるものを目立つような工夫をしていったらと思いました。 ▲掲示物が多く読むのが大変でした。	●日々、子供達が気持ち良く過ごせるようにと対応しています。 ●各クラスの掲示板については、「見やすさ、緊急性、目線」に重点を置き掲示の仕方を検討していきます。年間計画の貼り出しを始め、関連性のあるコーナーに分ける等して見やすさを工夫していきます。
			B	14.3%		
			C	0%		
		遊具・用具・図書等が、活用しやすいように整理・保管されていますか。				
		掲示版、掲示場所等は分かりやすく活用されていますか。				
7	家庭・地域社会との連携について	園への送迎時、連絡帳、個人面談等で保護者との情報交換は適切に行われていますか。	A	71.4%	○地域社会に開かれた園、地域活性化の為に貢献できる園づくりに向け、今後もよろしくお願いいたします。 ○家庭だけでなく、発達支援先や就学に向けて小学校ともしっかりと連携し、情報交換をしていただいたので子供がスムーズに小学校になじむ事ができ、とても感謝しています。これからも、そういった連携を続けていってほしいと思います。 ○担任の先生方は、もちろんそうでない先生方も、気さくに声をかけて下さり情報共有においては大変満足しています。今年は、熊問題があり地域との交流は難しかったのではないかと思います。 ○帰りはバタバタしがちですが、連絡事項をできる限り伝えてくれたり、季節に合わせて散歩やお出かけをしていて子供達も楽しみにしている。 ○子供の様子や家庭での状況を相互に共有できる環境が整っています。送迎時のコミュニケーションがしっかりととられています。 ▲避難訓練を地域の方々と合同実施で実施したいというお話がありました。是非、実施していただきたいと思います。 ▲昨今の熊問題、安全面で制限があると思いますが、地域との交流を含め無理のない範囲でお願いしたいと思います。	●熊対策では、安全な対策を都度考え、子供達の体験や学びが隔たらないよう協議を重ねていきます。 ●消火訓練等の体験ができるよう地域の方々へ呼びかけるなどの対応を考えていきます。
			B	28.6%		
			C	0%		
		乳幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流していますか。				
		保護者のみならず、地域の方達との交流ができる企画を設定していますか。				

幼保連携型認定こども園としての運営が7年目となりました。コロナ・インフル・感染性胃腸炎等、様々な感染症が季節に関係なく発生する状況となっておりますので、施設として「感染拡大防止」に尽力し継続的な施設運営に努めてまいりたいと思います。また全国的にも問題になっております「熊対応」ですが、私共の特色ある幼児教育・保育で経験できる貴重な体験等を停滞させることなくできますよう都度検討・実践につなげてまいります。

「学校関係者評価委員会」を無事開催することができ、沢山の労いの言葉やご意見等をいただけた事に感謝申し上げます。今回のご意見等をしっかりと今後の園運営に反映させていき、これからも「子供達の笑顔がたくさん溢れるあおぞらないろ園」をめざし、施設運営・整備に努めてまいります。

幼保連携型認定こども園　あおぞらないろ園　　園長　上村 清正